

YA 人気シリーズ新刊

「ちくまプリマー新書」シリーズ 筑摩書房

あらゆる分野の入門書がそろっています。何か気になるテーマがあれば、まずは“ちくまプリマー”から読んでみましょう。

『鬼と日本人の歴史』 小山 聡子^{きどう}/著 Y387.9/コ

『「死にたい」と言われたら』 末木 新^{すえき はしめ}/著 Y368.3/ス

『ナマケモノは、なぜ怠けるのか?』 稲垣 栄洋^{いずみひろ}/著 Y460.4/イ

『客観性の落とし穴』 村上 靖彦/著 Y116.7/ム

『集団に流されず個人として生きるには』
森 達也/著 Y361.4/モ

「なるには Books」シリーズ ペリかん社

多種多様な職業や学部、それぞれを目指す人に向けて書かれたシリーズです。興味のある職業や学部の本を手にとってみてください。

『商業科高校』 大岳 美帆^{おおたけ みほ}/著 Y376.8/オ

『音楽学部』 三井 綾子/著 Y376.8/ミ

YA ボランティア 募集中!!

興味のある方は
中央図書館まで
お問合せください



YA ブックリスト第 52 号

令和 5 年 9 月発行

稲城市立中央図書館 稲城市向陽台 4-6-18

電話 : 042-378-7111 FAX : 042-378-7162

<https://www.library.inagi.tokyo.jp>

稲城市立図書館

ヤングアダルト

BOOK LIST



VOL.52

人間関係

人間関係で悩まない人間はいないのでは？ 生きている限り必ず直面する問題ならば、備えておくのに越したことはありません。考え方、見方、かかわり方をほんの少し変えるだけ。読むと読まないで、もしかしたら生き方が変わるかもしれませんよ。



『まっすぐ人間関係術』

山崎 聡一郎^{だいつけ}/著、藤川 大祐^{たいすけ}/監修

茅 乃^{かやの}なや/イラスト&まんが 講談社 Y361.4/ヤ

「みんなの空気を読んで合わせなきゃいけないの？」

「教室でいじられてるけど、ガマンしなきゃダメ？」 「受験勉強が大事なのはわかるけど、そのために部活を辞めなきゃいけないの？」などの様々な心配事。

友達や親、先生との関係で悩んだ時、ヒントが見つかる一冊です。

『友だちってなんだろう?』 齋藤 孝^{たかし}/著 誠文堂新光社 Y158/サ

友だち関係を客観的、冷静に見れば、とてもシンプルなものです。友だちを作ることが怖がったり、一人でいることを恐れない生き方があります。肩の荷を下ろして、友だちと向き合いたい方、ぜひ手にとってください。

「13歳から分かる!人を動かす」 藤屋 伸二^{のぶ}/監修、大西 洋/イラスト
日本図書センター Y159.7/フ

コミュカ



『聞く力、話す力』 松原 耕二/著

河出書房新社 Y809.5/マ

この本ではインタビューにとって大切なポイントを伝えるだけでなく「なぜその人に聞きたいか。具体的に何を聞きたいか」という点を重視し、自然な会話から相手の会話を引き出すインタビュー方法について触れています。会話が苦手な方、読んでみてください。

『あなたを閉じこめる「ずるい言葉」』

森山 至貴/著 WAVE出版 Y361.4/モ

会話に隠れていた「あの一言」。実はそれがモヤモヤの原因でした。一見して気づきにくい言葉が多く紹介されています。言われたことがある言葉、あるいは自分自身も使っていた言葉があるかもしれません。言葉を使うことへの気遣いや配慮を知るために、そして他人の言葉に踊らされないために読むべき一冊です。

『13歳からの論理的な話し方のトレーニング』

小野田 博一/著 PHP研究所 Y809.2/オ

『話し方ひとつでキミは変わる』 福田 健/著

PHP研究所 Y809.2/フ

SNS

『SNS時代の幸福論』 愛沢 えみり/著 KADOKAWA 159.6/ア
アプリを起動させるだけで誰かと繋がれる、そんな便利な時代に生きる私たち。でも会ったこともないあの子との差に今日も心がすり減っていく。知りすぎてしまう時代だからこそ揺らがらない生き方を「伝説のキャバ嬢」が伝授。他人基準な幸せ、この一冊で変わります。

『SNSトラブル連鎖』 高橋 幹子/著 みうら かれん/著

金の星社 Y913.6/タ

心と向き合う

『中高生の悩みが軽くなるヒント集めました。』

葉一/著 はしゃ/イラスト

河出書房新社 Y159.7/ハ

人間関係、勉強に将来のこと、今を生きるのに精一杯なのにこれ以上どうすればいいの？そんな時に視野を広げる手助けをしてくれるのはこの本です。自分を嫌いにならない生き方を探しませんか？



『自分はバカかもしれないと思ったときに読む本』

竹内 薫/著 河出書房新社 Y159.5/タ

自分というものは、自分だけで形成してきたものではなく、両親、兄弟、友だちなど多くの人の言葉から影響を受けています。そのため「自分はこんな性格」という枠に阻まれている可能性もあり得ます。この本を読み終えた後、もう一度自分を振り返ってみてください。可能性は無量大にひろがっています。

『「人それぞれ」がさみしい』 石田 光規/著 筑摩書房 Y361.4/イ

『泣いたあとは、新しい靴をはこう。』 日本ペンクラブ/編 ポプラ社 Y159.5/ニ

物語



『ヨンケイ!』

天沢 夏月/著 ポプラ社 Y913.6/ア

「ヨンケイってなんだ？」

その答えはこの本の中にあります。そしてこの本を読んだ、あなたの中にも。自身を取り巻く環境のこと、漠然としている将来のこと、そして陸上のこと…さまざまな事柄にふれては迷い悩みを持ちながらも皆で力を合わせる群像劇です。

『キズナキス』 梨屋 アリエ/著 静山社 Y913.6/ナ

『バスを降りたら』 眞島 めいり/著 PHP研究所 Y913.6/マ